平成21年(2009年)　1月15日発行

第135号

きしわだ 議会だより

（市議会ホームページ http://www.city.kishiwada.osaka.jp/gikai/）

発行 岸和田市議会
編集「議会だより」編集委員会
TEL423－9667（直通）

厳しい社会情勢 重要課題について一般質問

～議会改革の一環として一問一答方式を導入～

平成20年第4回定例会では、市長から条例の一部改正や人事案件など22件の議案が提案され、原案のとおり可決・同意しました。また、意見書1件を提案し、可決しました。

一般質問では、11人の議員が市政各般にわたり理事者の見解をただしました。

第4回定例会

第4回定例会は、12月5日に開会し、監査結果や専決処分の報告を受けました。

続いて、条例の一部改正や補正予算、五風荘などの指定管理者を指定する議案など21件が市長から提案され、文教民生・事業・総務の各常任委員会にその審査を付託しました。

5日・8日に行われた一般質問（下段と2面に掲載）では、11人の議員が市政の重要課題について理事者の見解をただしました。

なお、議会改革の一環として今定例会から一般質問で従来の一括質問・一括答弁方式（質問回数3回）に、一問一答方式（60分で質問回数の制限なし）を加え、いずれかを選択できるようにし、より分かりやすく深い議論が可能となりました。

10日～12日に開かれた各常任委員会では、付託された議案の審査を行い、原案を可決しました。また、所管事項について質問を行いました。

15日に開かれた福祉総合センター及び周辺地域活性化調査特別委員会では、事業の現状などの報告を受け、質疑を行いました。

16日の本会議では、各常任委員会の審査を終えた議案について、審査結果の報告を受け、いずれも満場一致で可決した後、固定資産評価審査委員の選任について同意しました。

議員からは意見書1件を提案し、満場一致で可決しました。

最後に、特別・議会運営の各委員会の特定事件については、議会閉会中も継続して調査することに決定し、閉会しました。

城周辺の観光拠点としてリニューアルされる五風荘

意見書を可決

議員提案により可決した意見書を国会や内閣総理大臣などに提出しました。

子宮頸（けい）がん予防ワクチンに関する意見書（要旨）

20代、30代女性の子宮頸がんが急増し、その原因のほとんどがウイルスによる感染である。

一生のうちに約8割の女性が感染し、すべて発症するわけではない。

ワクチンでの感染予防が可能であり、早期承認に向けた取り組みを強く求める。

年賀などのあいさつ状は禁止

議員は、選挙区内に住んでいる人に対して、答礼のため自筆によるものを除き、年賀状などのあいさつ状を出すことは、公職選挙法で禁止されています。

市民の皆さまのご理解をお願いします。

第1回定例会予定

▽2月24日(火)…本会議
▽2月25日(水)…文教民生常任委員会
▽2月26日(木)…事業常任委員会
▽2月27日(金)…総務常任委員会
▽3月3日(火)…福祉センター特別委員会
▽3月4日(水)・9日(月)・10日(火)…本会議
▽3月11日(水)～18日(水)…予算特別委員会(土日は休会)
▽3月23日(月)…本会議

※会議は午前10時から開会予定で、2月27日・3月3日・13日・18日は午後1時から開会予定です。

11人の議員が一般質問（2面も）

※【問】の記事は質問議員が作成しました

地域の医療を継続するため 市民病院の経営改善を

信貴　芳則 議員

【問】市民病院は、救急診療やがん診療などで市民の期待に応えている。医師数や看護師数は同規模の公立病院と比べてもそん色はなく、これらの人材は岸和田の宝である。しかし、収支には納得できず、これは、時々の経営判断や運営に問題があると考えるがどうか。

【答】経営改善が急務であると認識しているが、病床の稼動率が不十分、委託費が大きい、この二点を改善しなければ、成し遂げることができないと考えている。

有識者の参画した検討委員会の提言を受け、病院改革プラン策定のなかで職員の意識改革を行い、経営の改善を図りたい。

【問】本市は、大変厳しい財政状況ではあるが、岸和田再生のためには、メリハリのついた再生プログラムの実行が必要である。行財政再生プランなどの取り組みについて聞きたい。

【答】19年度において、再生プランは、計画以上の効果を出したが、世界的な経済危機のなか、なお足りない歳入の確保や歳出の削減策について、庁内の行革幹事会で検討するほか、全職員にも意見を求めていく。

※一般質問の詳細については、市議会ホームページの議会録画中継または会議録をご覧ください。

訪問入浴サービス 障がい者の利便の向上を

その他の質問
○競輪事業について
○春木駅周辺のまちづくりの計画について

小寺　峰男 議員

【問】障がい者（児）の訪問入浴サービスは、委託先が1事業者と限られているが、利用者の利便のため、事業者を増やすよう見直すべきと考えるがどうか。

【答】このサービスは、重度障害者に対し、月2回無料で実施されている。

当初は、サービスを行う事業者が少なく、現在の事業者と委託契約を結んでいる。

現在、府の公表によると市内に4事業者があり、21年度の早期に拡充できるよう検討する。

【問】市民病院の産婦人科の再開は、市民の強い願望であり、市長の選挙公約である。

新しい生命の誕生の喜び、赤ちゃんのうぶ声が聞こえる、そんな素晴らしい産科を早期に再開すべきであると考えるがどうか。

【答】20年4月から外来のみの婦人科診療を再開し、現在産科医師の確保に向け、ホームページへの掲載、医科大学の医局や医師同士のつながり、あるいは派遣会社の紹介などを通じ幅広く募集し、できるだけ早く、産科入院ができる体制を確立するよう努める。

高齢者の負担軽減のため 介護保険料の引き下げを

その他の質問
○市民センター6館構想について

池田　啓子 議員

【問】年金受給額が減額され、さらに税金や保険料などが天引きされている高齢者の生活がますます苦しくなっている。介護保険料の引き下げと仕組みの改善が必要と思うがどうか。

【答】高齢者の生活実態は厳しいと認識している。

高齢者の自然増や介護報酬の3％増加に伴う保険給付費の増加など、保険料の引き上げが予想されるが、前期の借入金の返済が今年度中に終了することなど、引き下げの要素もある。

保険料設定の段階数については、被保険者の負担能力に応じた、よりきめ細かなものを検討していく。

【問】大阪維新プログラム案で、21年度以降の方向が示されていなかった重度障害者や乳幼児などの4医療費助成については、セーフティネットとして、現行制度の継続が必要と思われるが、市としてどのように判断していくのか。

【答】本市は、行財政再生プランを実施しており、新たな一般財源の負担や市民生活へ影響を及ぼさないよう、さらに府の交付金化の状況を見極めつつ、21年度予算に反映したい。

＜会議録の閲覧＞ 本会議（定例会・臨時会）や常任委員会などの内容を記録した会議録は、議会事務局やインターネットなどで閲覧できます。